



水しぶきあげ、いぎスタート

7月30日に開催されたモライアスロン。過去最高となる375名の参加者が号砲とともに一斉にスタート。五ヶ瀬川を遡り、馬見原商店街のゴールを目指しました。(16ページに関連記事)

Contents 主な内容

- 4～5P…………… 絵本カーニバル
- 6～7P…………… 高校野球・郡体
- 12～13P…………… まちの話題
- 16P…………… ミュージカル体験クラブ・モライアスロン
- 17P…………… すくすく育て
- 20P…………… 矢部高日本拳法部



西山文哉(1年) 甲斐 圭(3年) 藤川卓也(主将・3年) 本田竜二(3年) 大塚 誠(3年) 緒方一真(3年)

前列が全国大会を戦った6名。彼らの後ろには、その栄光を引き継ごうとする1年生が並び、後列右端が濱雄大監督。

栄光までの道のり

- 【一回戦】
矢部 2 — 1 檀原(奈良)
- 【準々決勝】
矢部 5 — 0 伊都(和歌山)
- 【準決勝】
矢部 0 — 1 東大阪大柏原(大阪)

矢部高校 日本拳法部 創部初! 堂々の全国大会 3位

全国高等学校日本拳法選手権大会

7月30日、31日、京都府で行われた、第56回全国高等学校日本拳法選手権大会。矢部高校日本拳法部が、創部初の全国大会3位という快挙を達成しました。

大会には全国の予選を勝ち抜いた強豪14チームが参加。団体戦は各校5人で戦い、試合時間は2分(2本先取制)。初戦の相手は奈良県の檀原高校。個人戦上位の選手が名を連ねる強豪校です。しかし、気負うことなく「無」の境地で臨んだ彼らは実力を発揮し、2勝1敗2分けて勝利しました。初戦の勢いそのままに続く準々決勝に勝利し、迎えた準決勝の東大阪大柏原高校戦。先勝された矢部高校はその後、相手の消極的な試合運びに引きずられるように引き分けを続け、1敗4分けて涙をのみました。(東大阪大柏原高校はその後優勝)

彼らを指導してきた濱雄大監督は「入部当時から共に頑張り続けた3年生5人。毎日毎日、厳しい指導に耐え、地道に練習を重ねた努力が実ったという思いです。」と目を細めました。

「試合直後は悔しい思いでいっぱいだった。3位を実感したのは表彰式で矢部高校の名前が呼ばれたとき。」と部員は口を揃えます。チームを引っ張った主将の藤川卓也くんは優秀選手賞を受賞しました。

この勝利は大きな自信となり、今後の彼らを支え続けることでしょう。

平成22年度交通安全標語 コンクール入選作品

山都地区交通安全協会が募集した、交通安全の標語コンクールの入選作品を毎月2作品ずつご紹介していきます。(学校名・学年は当時)

- 登下校 一列ならんで 歩こうよ (大野小5年 栗屋 野乃花)
- 交通ルール まもれば安心 みんなもえがお (菅尾小6年 中村 ひかる)